

みずほCustomer Desk Report 2025/06/30号(As of 2025/06/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	144.65
TKY 9:00AM	144.67	1.1694	169.20	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	144.94	1.1754	169.80	1.3726	0.6547
SYD-NY Low	144.20	1.1681	168.65	1.3752	0.6560
NY 5:00 PM	144.65	1.1723	169.52	1.3684	0.6510
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,819.27	432.43	日本2年債	0.7500%	0.0300%
NASDAQ	20,273.46	105.55	日本10年債	1.4300%	0.0200%
S&P	6,173.07	32.05	米国2年債	3.7439%	0.0256%
日経平均	40,150.79	566.21	米国5年債	3.8257%	0.0303%
TOPIX	2,840.54	35.85	米国10年債	4.2739%	0.0293%
シカゴ日経先物	40,625.00	790.00	独10年債	2.5970%	0.0330%
ロンドンFT	8,798.91	63.31	英10年債	4.5005%	0.0305%
DAX	24,033.22	383.92	豪10年債	4.1460%	0.0250%
ハンセン指数	24,284.15	▲ 41.25	USDJPY 1M Vol	9.97%	▲0.18%
上海総合	3,424.23	▲ 24.23	USDJPY 3M Vol	10.30%	▲0.29%
NY金	3,287.60	▲ 60.40	USDJPY 6M Vol	10.26%	▲0.15%
WTI	65.52	0.28	USDJPY 1M 25RR	▲1.46%	Yen Call Over
CRB指数	299.74	1.51	EURJPY 3M Vol	8.48%	▲0.24%
ドルインデックス	97.40	0.25	EURJPY 6M Vol	8.90%	▲0.21%

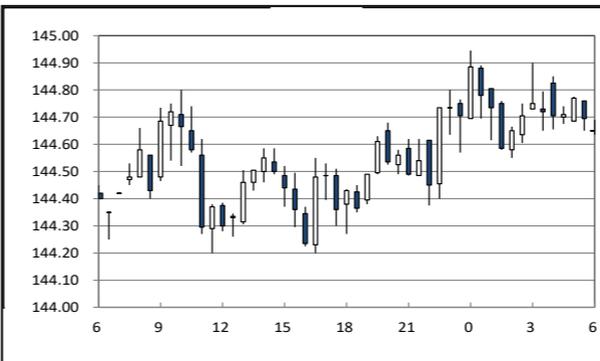
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月27日	08:30	日 失業率	5月 2.5%	2.5%
	08:30	日 東京/コア/コアコアCPI	6月 3.1%/3.1%/3.1%	3.3%/3.3%/3.3%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	6月 0.3%/0.9%	0.1%/0.8%
	15:45	仏 PPI(前月比/前年比)	5月 -0.8%/0.2%	-
	18:00	欧 消費者信頼感・速報	6月 -15.3	-15.3
	21:30	加 GDP(前月比/前年比)	4月 -0.1%/1.3%	0%/1.3%
	21:30	米 PCE価格指数(前月比/前年比)	5月 0.1%/2.3%	0.1%/2.3%
	21:30	米 個人支出(前月比)	5月 -0.1%	0.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	6月 60.7	60.5

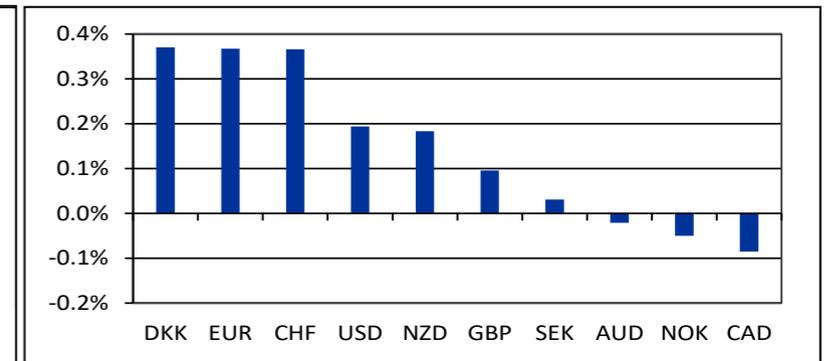
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月30日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	5月 3.5%/1.6%	-2.2
	10:30	中 製造業/非製造業PMI	6月 49.6/50.3	49.5/50.3
	15:00	独 小売売上高(前月比)	5月 0.5%	-0.9%
	15:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q 0.7%/1.3%	0.7%/1.3%
	15:00	英 個人消費(前期比)・速報	1Q F 0.2%	0.2%
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	6月 0.2%/2.2%	0.1%/2.1%
	23:00	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.90-145.00	1.1650-1.1780	169.00-170.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日に公表された米5月PCE価格指数は、前年比+2.3%と前月の+2.2%から加速。一方で個人消費支出は前月比▲0.1%とマイナスに転じ市場予想も下振れるなど、スタグフレーションを懸念させる内容。他方、米中貿易交渉の進展期待も追い風に米株は続伸しドル円も144円台半ばを中心としたレンジ圏での底堅い動きとなっている。本日のドル円は上値の重い展開を予想。今週は明日以降に米国の重要経済指標の公表を控える。東京時間朝方から日米貿易交渉の難航に関する報道が上値を抑えそうだが、先週末のレンジを抜けていくような動きは想定しにくい。週末、ベッセント財務長官はFRB議長の後任を10、11月にも指名し、来年1月に任期が終了するクグラー理事の後任に据える可能性について言及。バー前FRB副議長の退任の前例もあり、パウエル議長の任期前の退任の可能性はゼロではないものの、足許で大きく材料視される可能性は高くはないだろう。

東京	東京時間オープン前に公表された6月東京都部CPIの予想を下回る結果を受けた円売りに、144円台半ばから多少値を上げ、東京時間のドル円は144.67レベルでオープン。月末フォローに振られながらも米中貿易交渉合意への期待感や日銀利上げ観測の後退などを背景に、144.80まで上げ幅を拡大。仲値後は失速し144.20まで下落も、その後は狭い値幅で方向感なく推移。結局、144.36レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は144.36レベルでオープンし、米国のPCEデータ発表を控えて144.20から144.68の間で推移し方向感のない取引となった。結局144.49レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は朝方に発表されたコアPCEが予想を上回ったが、米5月個人支出(前月比)等が予想を下回った事を受け、一時144.38まで下落する。その後発表された米6月ミシガン大学消費者マインド指数が上方修正されると、ドルが144.94まで買い戻される。午後はカナダ貿易協定を打ち切るとトランプ大統領が発表し、ドル買いに押され再び144.90まで戻すが、終盤に掛けては144.70付近を挟んだ推移が続き、144.65レベルでクロス。一方、ユーロは低調な米経済指標の結果を受け、ドル売りの流れから1.1754まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、午後は前述のトランプ大統領発言を受けドル買いが強まり、1.1688まで値を下げる。終盤に掛けては下げ渋り、1.1723レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。